

2021年3月30日

関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会
会員大学担当者 各位

関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会
会長 荒川 一郎(公印省略)
(学習院大学学長)

**関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2021年度定期総会、
東京地区教職課程研究連絡協議会との合同研究大会開催のお知らせ**

加盟校の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会（以下関私教協）2021年度定期総会及び東京地区教職課程研究連絡協議会（以下東教協）との合同研究大会を下記の要領で開催いたします。

万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時 2021年5月16日（日）10:30～17:00

※10:15～オンライン参加開始

2 開催方法 Zoom で開催

<https://seijo.zoom.us/j/88568848021>

ミーティング ID: 885 6884 8021

パスコード: 453281

3 タイムテーブル

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 東教協定期総会 | 10:30～11:30 |
| (2) 関私教協定期総会 | 11:45～12:45 |
| ……昼食休憩…… | 12:45～13:55 |
| (3) 合同研究大会 | 14:00～17:00 |

4 関私教協定期総会の議題（予定）

- ① 2020年度活動報告（各部、地域協議会、事務局）
- ② 2020年度入会・退会大学
- ③ 2020年度会計決算（案）
- ④ 2020年度会計監査報告
- ⑤ 2021年度役員大学担当表
- ⑥ 2021年度新規加入大学
- ⑦ 2021年度活動方針（案）
- ⑧ 2021年度予算（案）

5 関私教協・東教協 合同研究大会 (14:00~17:00)

テーマ 「中教審答申「令和の「日本型学校教育」の構築を目指して」の展望
— ICT の活用と教師教育を中心に —」

趣 旨

本年1月26日に、中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が出された。答申は、GIGAスクール構想の実現によって可能となるICTを活用した個別最適な学び（学習の個性化）、個に応じた指導（指導の個別化）を、従来の教育実践の蓄積と接続しようとするものであるが、その接続によって従来の教育実践が抱えていたどのような課題を克服できるのか、その接続にはどのような困難があるのかに対する関心は大きい。

また答申は、教師のICT活用指導力の向上などを意識した、教職課程全体の速やかな制度改正（新科目の設置や既存科目の内容変更など）にも言及しているが、その制度改正は具体的には教職課程にどのような影響を及ぼすこととなるのか、その制度改正の実現にはどのような困難があるのかに対する関心も大きい。

今回のシンポジウムでは、ICTの活用と教師教育を中心に、今後の学教教育や教員養成を左右し得る今般の中教審答申について、専門家を招いて意見交換し、今般の中教審答申の意義や課題について、さまざまな視点から検討したい。

7 出欠について

ご出席の場合は、別紙の「2021年度定期総会・合同研究大会出欠表」に必要事項を記載したものをPDFファイルにて、5月1日（土）までに、関私教協事務局宛に電子メールに添付して送りいただきますよう、お願いいたします。また、出席される際には、Zoomで表示される名前を大学名・氏名としてください。

なお、ご欠席の場合は、別添の「委任状」を必ずお送りいただきますようお願い申し上げます。

以上

【本件お問合せ先】

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

学習院大学教職課程内 関私教協事務局

担当：小高 侑子 TEL：03-5992-1139

E-mail：g-kanshikyo@gakushuin.ac.jp